

「この人 55」

鈴木 哲也 38歳 愛知県

編集部 俳句を始められたのは？

鈴木 昔、校正士をしていたので、自分がつくることをしたいと思い、俳句を作り始めました。

編集部 滑稽俳句を始められたのは？

鈴木 滑稽俳句協会の設立総会に参加してみて、入会したいと思いました。入会してみて、会報に自分の句が必ず載り、特選句、秀逸句に選ばれると作品の紹介、評議があるのが面白いです。

編集部 俳句における滑稽とは？

鈴木 滑稽には、いろいろなジャンル、種類があります。一言では、表現できない奥深いものです。

編集部 滑稽俳句を続けていて良かったことは？

鈴木 これまでで嬉しかったのは、二回も作品が紹介されたことですね。また、続けることで少しずつ、俳句が上達してきました。

編集部 滑稽俳句を作るコツは何でしょうか。

鈴木 滑稽のお手本となるような作品をたくさん熟読すること、その作品の滑稽について自分なりに分析すること、テーマを決めて作ること、物事の背景をよく観察することなどでしょうか。

<代表句>

春雨や傘をさしてはコンビニへ
天の川あなたきょうには会えるかな
涼しさはざるそば一つサラダつけ
ざるそばをコンビニで買う白い雲
足元に春は来てますスニーカー